暮らしの声で前進ひらいた。

庄司あかり（代表質疑）　子育てから経済まで、寄せられた要望の実現に奮闘。

ふるくぼ和子　消費税増税中止の請願採択を主張。

高見のり子（一般質問）　災害から住民をまもる防災都市を提案。原発ゼロも

花木則彰　議員の手当引き上げに反対し討論。

すげの直子（一般質問）　市営住宅でたくさんの要望を聞き、議会に生かした。

嵯峨サダ子　アスベスト対策求め、命と健康まもる提案。

市民とつながる。それが、パワー。

仙台市議会定例会が2018年12月、開かれました。郡和子市長は、学校にエアコンを設置する予算134億円を提案。また、奨学金の返還支援の方針も出しました。これらは先の9月議会で、日本共産党が求めたものです。

「現場主義」を掲げる郡和子市長のもと、共産党が訴え続けてきた市民の声が相次いで実現し始めています。35人以下学級、復興住宅の家賃減免、保育士の処遇改善など。市民要求を実現する財源は、十分あることも示されています。

市政を動かす原動力は、市民の声です。日本共産党は今議会でも、多くの市民とつながり、切実な要望を議会で訴え、その実現にがんばりました。

仙台市青葉区国分町３-7-1　仙台市役所内　☎214-8786　E-mail jcpsendai@nifty.com

「市民が主役」を本流に。

郡市政のもと「市民が主役」を本流にしていく、かつてなかった条件が生まれています。市政を市民本位に大転換させるときです。暮らしの声をさらにもっと市政に届けましょう。日本共産党は、市民の声を市政につなぐパイプ役として、全力をあげます。

学校エアコン設置

市立小中学校、高校の全192校に、エアコンが設置されます。共産党は、エアコン設置の仕事が地元業者の仕事になるよう分離分割発注にすることを提案。教育長は「発注方式に配慮し、地元企業を活用していく」と答えました。

障害者の医療費

今年10月から、心身障害者の医療費助成制度の対象に精神障害者も加わります。重要な前進です。ただ、この助成制度は、障害者が医療機関の窓口でいったん立て替えて支払い、その分は後で申請して戻ってくるというものです。共産党は「立て替え払いは、経済的負担も大きい」とし、現物給付（窓口無料化）を求めました。
健康福祉局長は「現物給付が望ましい。市長会を通じて県に求める」と述べました。

奨学金制度

仙台市は、市内の中小企業に就職した若者に、入社後3年間、奨学金返還を支援する方針です。支援額は、年間18万円。半分の9万円は、採用した企業の寄付としています。共産党は、年間1人当たり9万円寄付が困難な企業もあることから、半額寄付を要件とせず、また、金融機関や大企業など幅広く寄付をつのるよう提案しました。
さらに、返還を支援するだけでなく、返還不要の給付型奨学金制度の創設を訴えました。

地域交通

宮城野区燕沢地区に乗合タクシーが試験運行され、市民の大きな注目を集めました。ワゴン車で定員9人、運賃は200円。今後、2回目の試験運行を経て、実証運行、本格運行へと進む予定です。試験運行に、市は経費の一部を補助しました。共産党は、本格運行にも補助が必要になると訴えました。
都市整備局長は「補助内容は、実証運行前までに検討する」と述べました。
共産党は、こうした地域交通にも敬老乗車証や、ふれあい乗車証（障害者）を使用できるよう提案しました。

市営住宅の改善

市営住宅の応募倍率は10～20倍。なかなか入れません。一方、市営住宅の空き住戸は、1200戸もあります。修繕待ちは200戸。共産党は「年間の修繕戸数を増やして募集に出すべきだ」とし、修繕の予算を増やすよう求めました。
都市整備局長は「1月と3月の定期募集が160戸となるよう、空き住戸の修繕を進めている。着実な修繕につとめていく」と述べました。

市営住宅の応募状況

年度	募集戸数	応募世帯
2016	294 戸	4072 戸
2017	512 戸	5790 戸
2018 ※6、7、9月の３回分	207 戸	2757 戸

共用廊下の電球取り替え

廊下の電球の取り替えが、入居者負担になっている問題で、市の負担でやってほしいとの要望があがっています。共産党は、国の方針では、共用廊下、エントランス等の照明器具の修繕は自治体が行うとしていることを明らかにしました。
都市整備局長は「町内会から要望が寄せられており、条例改正で適切な負担にする」と答えました。

豪雨への備え

2018年7月の西日本豪雨災害では、堤防の決壊が相次ぎました。大雨による水位の上昇に加え、川の中に樹木が茂り、川の容量が狭まり、川から水があふれ出たとされています。
共産党は、七北田川や名取川について、河川を管理している県に川底の土砂撤去、樹木や雑草の除去を求めるよう主張しました。危機管理監は「国や県に要望している」と述べました。

川には、土砂が堆積し草木が生い茂る（七北田川・福室）

被災者の援助を充実させて

仙台市には、床上浸水程度の被害では小規模な災害見舞金しかありません。共産党は、国の災害救助法が適用されない場合であっても、実情に合わせた生活再建支援金や応急修理制度のような支援策を求めました。

原発ゼロ

女川原発（停止中）の再稼働の是非を問う住民投票を求める署名は、11万4000人分を超えました。2月に村井知事に提出されます。原発災害の一番の備えは、原発を止め、廃炉にすることです。
共産党は、もし事故が起きた場合、放射線量と風向きなどのデータが市にすみやかに届くようにするよう求めました。
また、子どもたちや妊婦さんが、ただちにヨウ素剤を服用できるよう配備を求めました。

水道民営化

国会でこのほど、水道の運営権を自治体から民間企業に売却することをめざす水道法改定案が自民、公明、維新などの賛成で可決されました。世界では、民営化により、水道料金の値上げ、水質の低下などが起こり、そのため再び公営に戻す動きが進んでいます。
共産党は、村井知事が水道の運営権を民間企業に譲渡しようとしていることを批判。安全、安心の水を守るため市が県に意見し、公営を維持するよう主張しました。

福祉灯油

県生協連の配達灯油の暫定価格は、18リットルで1,926円、3年9カ月ぶりの高値を記録。仙台市では、梅原市政時代に、価格高騰を受け福祉灯油を実施しました。当時の灯油価格は1,854円。この冬の価格は、当時を上回っています。
共産党は、生活保護世帯や少ない年金で苦労している家庭に、福祉灯油を実施するよう求めました。
健康福祉局長は「価格の推移を注視していく」と答えました。

被災者からお日さまを奪うなんて。

市は、救済措置を

あすと長町復興住宅

被災者が入居している、あすと長町復興公営住宅は、目の前に２つの巨大マンションが建設されたため、日照が奪われています。

あすと長町復興住宅は、市が業者から買い取る方式で建てられました。民間公募買取方式に手をあげた㈱ワールドアイシティは「全住戸に良好な日照を確保します」としていました。ところが同社は、復興住宅を建設後、南側に高層マンションを建設。東側にも建設中です（写真上）。復興住宅は冬期、１日じゅう日が当たらない部屋もあります。

入居者からは、玄関ドアに明り取りの窓をつけてほしいなど要望が出されています。共産党は、市が被災者の立場に立ち、要求にこたえるよう訴えました。

議員の期末手当引き上げに反対

反対の討論を行う花木則彰議員

今議会で日本共産党は、提案された18議案のうち1議案に反対しました。議員の期末手当を引き上げる議案です。ひとり6万900円のアップです。

共産党は、討論（花木則彰議員）で、市があすと長町復興住宅の日照問題に手立てをとらないでいることや、復興住宅で収入超過を理由に退去を強いている現状を指摘。「被災者の生活再建の取り組みを行わない理由に、財政困難をあげながら、議員の手当を議員自らが引き上げる議決を行うことは、市民の理解を得られない」と述べました。

本議案には、共産党だけが反対しました。

消費税増税中止を求め102団体が請願

請願に賛成討論する、ふるくぼ和子議員

2019年10月の消費税率10%への引き上げを中止するよう求める請願が２件、今議会に提出されました。日専連仙台、県商工団体連合会、県生協連合会、県花卉商業協働組合など102団体です。

請願は、消費税増税が消費不況を助長し、軽減税率などは大混乱を生むと指摘しています。

共産党は、消費税増税しなくても、大企業向けの優遇減税などをやめれば、社会保障は充実できるとし、請願の採択を主張しました。共産党と社民党が賛成しましたが自民、公明などの反対で否決されました。